

科目区分	専門分野Ⅱ	授業科目	小児援助論Ⅱ (治療にともなう看護)
講師名	納所 洋 (5時間) 青 雅一 (2時間)	実務経験の有無	有
単位数 (時間)	1 単位 (30 時間のうち 8 時間) (小児 2 : 6 時間、形成外科 : 2 時間)	開講年次	2 年次 第 2 学期
<p>目的 : 1. 小児外科のおもな疾患の症状と治療および看護について習得する。 目標 : 1) 小児外科の主な症状と術前管理について理解する。 2) 小児の麻酔と術後管理について理解する。 3) 小児外科の治療にともなう看護について理解する。</p>			
講義概要 メッセージ			
回	講 義 内 容		
小児外科 : 納所 洋 講師			
1	1. 小児外科の特徴 2. 小児外科疾患の主症状・術前術後の管理 緊急手術と計画手術・日帰り手術 3. 小児の麻酔と術後管理		
2・3	4. 小児の外科手術疾患の症状と治療に伴う看護 1) 消化器に健康障害のある小児 ①横隔膜疾患 ; 先天性横隔膜ヘルニア ②食道疾患 ; 先天性食道閉鎖症 ③小腸・大腸疾患 ; 腸閉塞 (先天性含む)、鎖肛、ヒルシュスプリング病、胆道閉鎖症 ④腹膜・腹壁疾患 ; 臍帯ヘルニア、臍ヘルニア、鼠径ヘルニア ⑤泌尿・生殖器疾患 ; 膀胱尿管逆流症		
4	終了試験 (30 分) (口腔外科と合わせて 45 分)		
形成外科 : 青 雅一 講師			
1	口腔疾患 : 口唇、口蓋裂		
	終了試験 (15 分) 2) 耳鼻科系に健康障害のある小児 疾病と治療Ⅷ (耳鼻科) で教授される (扁桃腺炎、アデノイド)		
講義方法	講義		
評価方法	筆記試験 (100 点満点中、小児外科 : 20 点、形成外科 : 10 点) 科目評価は小児援助論Ⅱ ; 治療に伴う看護 (小児 1) 70 点と合わせて 100 点満点とする		
テキスト	医学書院 : 系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論		
備考	既習関連科目 : 解剖生理学Ⅰ、Ⅱ、疾病と治療Ⅴ、Ⅵ		